



YAMAGUCHI UNIVERSITY  
山口大学

# まちづくりを見据えた 交通政策の視点

山口大学大学院創成科学研究科

鈴木春菜

2024.11.29

第3回持続可能な社会の実現に向けた交通政策検討小委員会

# 地方交通政策の課題認識

- 交通事業者の経営状況の緩やかな悪化を放置し、危機が顕在化
  - 事業者の内部補助に頼る構造を享受
  - 交通事業者のコスト(間接経費)削減を軽視
  - 施設や車両・サービスへの投資、人件費が減少
  - サービス水準の低下と利用者の減少の悪循環をほぼ放置
- 「持続可能な都市・地域づくり」と公共交通施策の不整合
  - 広域・長期的な都市と公共交通の構想と共有が不足
  - 「目的地」「軸交通」が弱いとフィーダー交通の利便性も低い
    - 「困り度」「喜ばれ度」「実行容易性」が低い「収支が黒字の路線/鉄道の利便性向上」が手薄

社会インフラとしての公共交通の再定義と投資が必要

# 山口県内 各市の 地域公共交通計画(旧網計画)の理念・将来像

- ・ 未来へつなぐ**住みよいまち**のみんなの公共交通
- ・ 人、地域、暮らしをつなぎ、**ゆたかな社会**へつながる公共交通
- ・ **いきいきと活動できるまち**を支える交通体系 ～みんなで育む、みらいへ受け継ぐ〇〇の交通～
- ・ ～**マイカーに頼りすぎないまち**づくりを目指して～育て支えよう！みんなの公共交通～
- ・ **活力と笑顔あふれるまち**を いつまでも支え続ける地域公共交通
- ・ 市民生活を支え、**ひとが輝く**地域公共交通
- ・ **市民の暮らし**を支える利用しやすい交通ネットワーク！
- ・ **暮らしと交流**を支える持続可能な公共交通
- ・ **幸せな暮らし**を支え続ける地域公共交通網の形成
- ・ みんなで支える安心・安全で、**快適な暮らし**を保つ地域公共交通
- ・ 共につくる 未来につなぐ 公共交通
- ・ 「**幸せを感じるまち**」の礎となる地域公共交通の展開
- ・ 変わりゆく地域の暮らしとまちのすがたに対応した持続可能な公共交通の構築

**「公共交通」はまちづくりに貢献するものとの認識**  
**山口県内14市のうち12市は立地適正化計画策定済み**



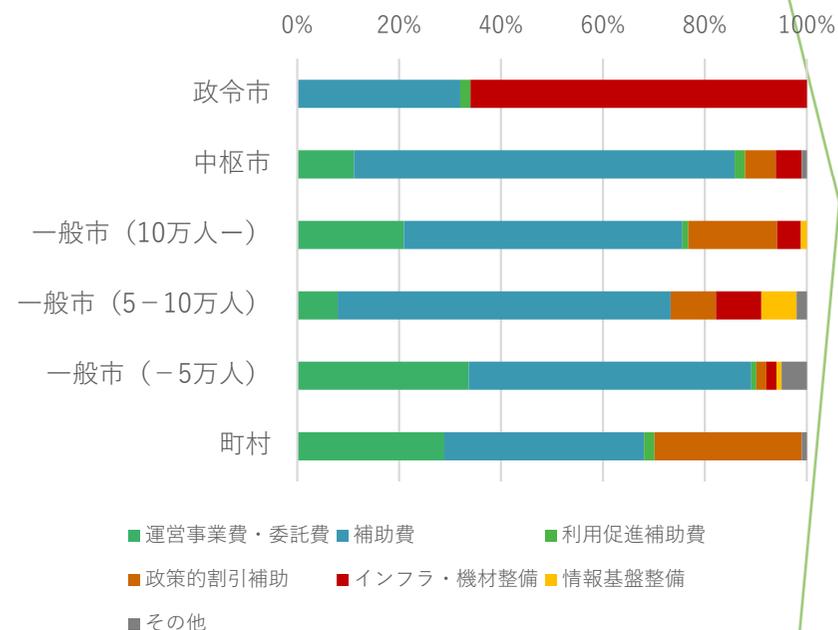
YAMAGUCHI UNIVERSITY  
山口大学

# 一方で投資的支出は少ない

中国地方の自治体の公共交通政策実施体制についてのアンケート調査(2023.4)

## 財政支出の状況

都市分類	政令市	中枢市	一般市			町村	全体
			10万~	5~10万	~5万		
N	2	5	6	5	12	20	50
支出額平均(百万円)	48802	794	575	233	135	61	2180
一人当たりの支出額(万円)	6.21	0.34	0.37	0.35	0.43	0.75	0.76
支出割合(%)							
運営事業費・委託費	0	11	18	8	34	28	29
運営補助費	32	74	47	66	56	38	50
利用促進補助費	2	2	1	0	1	2	4
政策的割引補助	0	6	15	9	2	18	6
インフラ・機材整備費	66	5	4	9	2	0	5
情報基盤整備費	0	0	1	7	1	0	1
その他	0	1	0	2	5	1	2



政令市以外は委託費・補助費の支出が多く投資が少ない傾向

サービス水準向上策は少なく、「選ばれない」公共交通のまま

# 都市計画と交通計画の協働の推進

軸交通の強化と移動時に快適な空間整備(ソフトな都市計画)  
を戦略的に推進する必要

- ✓ 効果発現は少し時間がかかるが、地域に変化をもたらす
- ✓ 交通は「点」「支線」(だけ)ではなく、「軸」の強化が必要
- ✓ まちが先か？交通が先か？ではなく、セットで進める必要

国の財政的支援が不可欠

# 姫路駅整備の影響



→  
駅前  
案内所の  
市街地図

設置:  
2009年頃

整備完了  
2015年

撮影:  
2019年  
8月

姫路市HP



姫路市街  
地図 Map around  
Himeji Castle

● なくなった宿泊施設  
● 新設された宿泊施設

# 出雲大社整備の影響 (参詣道の整備)



2.5m 歩行空間 | 7.0m 車道 | 2.5m 歩行空間



整備前

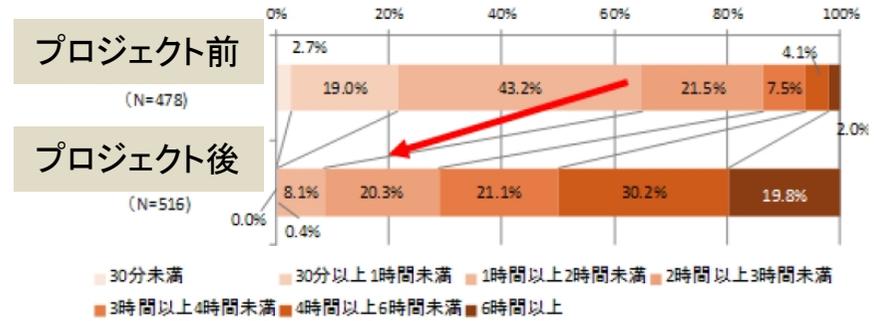
3.5m 歩行空間 | 5.0m 車道 | 3.5m 歩行空間



整備後

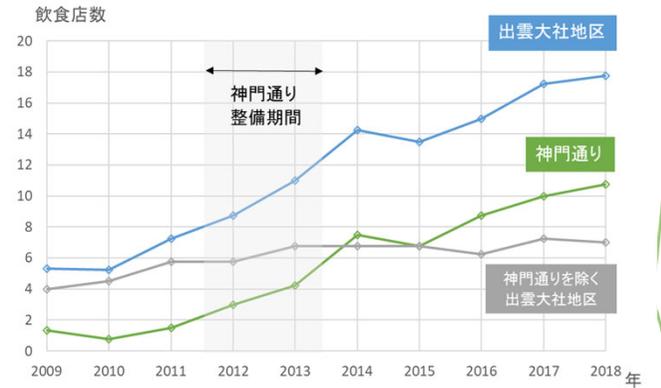
## プロジェクト直後の効果

- ✓ 滞在時間増加
- ✓ 平均支出金額増加  
2,463円→4,564円
- ✓ 満足度向上 78.9%→94.8%



## 中期的な効果

- ✓ 店舗数の増加 22(H18)→76(H27)
- ✓ 周遊ツアーの滞在時間の増加
- ✓ 観光雑誌での掲載量増加
- ✓ シビックプライドの醸成



出雲大社地区内の観光情報誌掲載飲食店数の推移

インタビュー

### 変わらないと 思っていたまちが変わった —出雲大社前 神門通りの整備から—

多々納光教

出雲大社前 神門通りの整備から、まちが変わった。整備前は、歩行者が歩けないほどの狭い道で、車も通れず、観光客も来なかった。整備後は、歩行者が歩けるようになった。また、飲食店も増え、観光客も増えた。まちが活気を取り戻した。

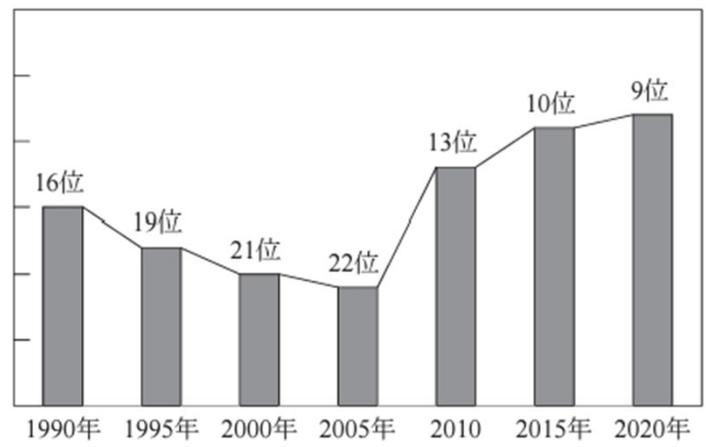
藤原昇汰・鈴木春菜・永野慶太：観光地におけるインフラ整備の中期効果の検討—出雲大社参詣道の整備を事例として—、実践政策学、6 (1), 33-42, 2020

一部のデータは (株) バイタルリード福井氏提供



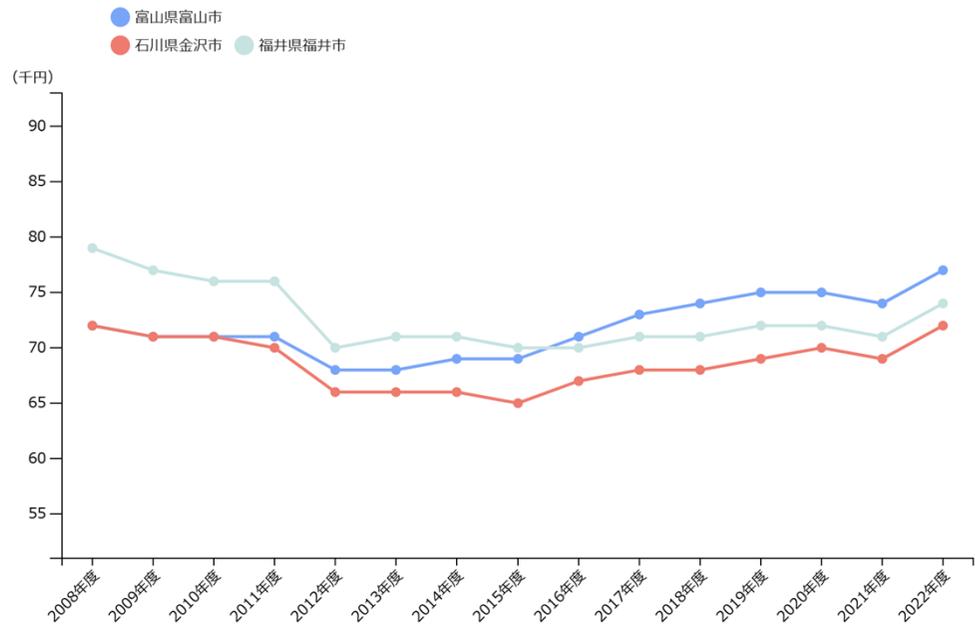
# 富山市

「都道府県最高地価」における富山県の順位  
(政令市除く)



森雅志・本田信次・高森長仁・谷口博司・中川大：地方自治体による鉄軌道政策の成果と課題に関する研究，実践政策学，Vol.8，No.1，p.5-20，2022.

## 一人当たり固定資産税



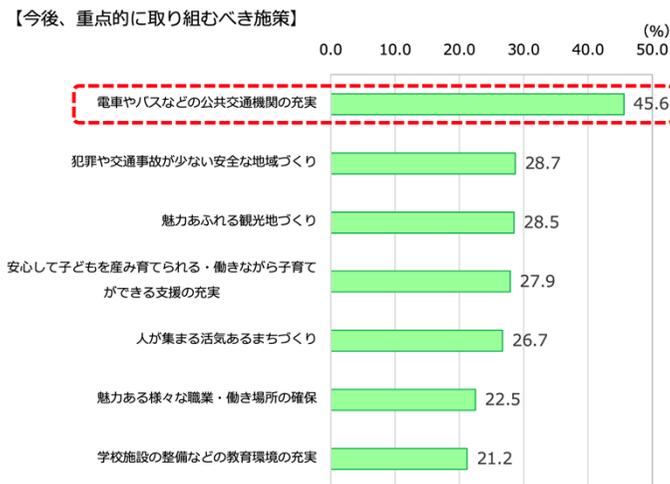
【出典】  
総務省「地方財政状況調査関係資料」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

# 「交通空白」に加え「活動制約」への視点

(地方部)  
自家用車が使えないと活動が制約される層：公共交通が不便だと「住み続けたくない」

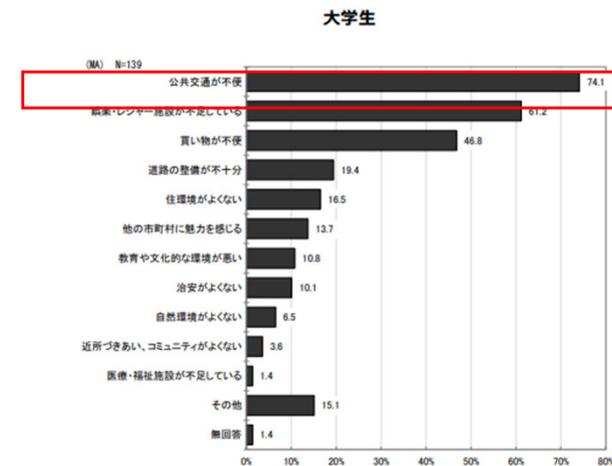
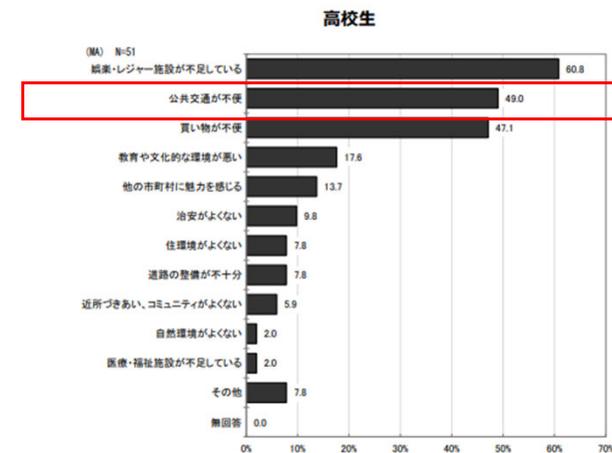
宇部市総合計画審議会「学生アンケート調査」(R3)  
「今後市外へ移り住み、宇部市では暮らさないと「思う」を選択した理由

「これからの“とちぎ”づくりに関する  
高校生意向調査」(2019)(栃木県)



<自由意見(290件)で多かった項目>

- ① 公共交通機関の充実に関すること 85件
  - ・バスでICカードが使えるようにしてほしい
  - ・バスや電車の本数を増やしてほしい 等
- ② 活気あるまちづくりに関すること 83件
  - ・栃木の魅力をアピールすべき
  - ・若者や学生が楽しめるような施設が欲しい 等



# 「交通空白」に加え「活動制約」への視点

(地方郊外部・中山間地等)

商業施設や行政施設・医療施設の撤退など生活機能の消失が顕在化し  
「買い物難民」「社会的入院」が増加

→既存の交通サービスの維持では不十分  
「生活機能の確保」の手段の1つとして移動を捉える必要

## NHK 「クローズアップ現代」



今、全国でスーパーの閉店が相次いでいます。それによって買い物に往復1時間かかるなど都心でも「買い物難民」が増えています。鳥取県では17店舗が一斉閉店し、16キロ先にしかスーパーがないという住民も。買い物が減ることで栄養が偏る、外出が減り引きこもりがちになるなど心身へのリスクも。スーパーと取引のあった業者や農家は売上が減り、地域を揺るがしています。財政支援に乗り出す自治体などの対策を追いました。

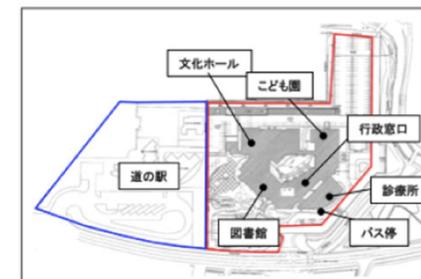


## 道の駅「鯉が窪」(岡山県新見市)

- 地域づくりの計画から運営まですべてにおいて住民主体を掲げ、地域コミュニティの形成に大きく寄与。
- 診療所・図書館・認定こども園・行政窓口・「道の駅」の産直市等の地域振興施設の機能を集約することによりワンストップサービスを実現し、先進的な「小さな拠点」を形成。
- 「道の駅」を中心としたデマンドバス等の運行や宅配・安否確認サービスの実施など高齢者に優しいサービスも提供。



道の駅「鯉が窪」  
岡山県新見市  
人口 約31千人  
面積 約783.3km<sup>2</sup>



# 都市交通施策を支える制度・進め方 －行政の人材制度

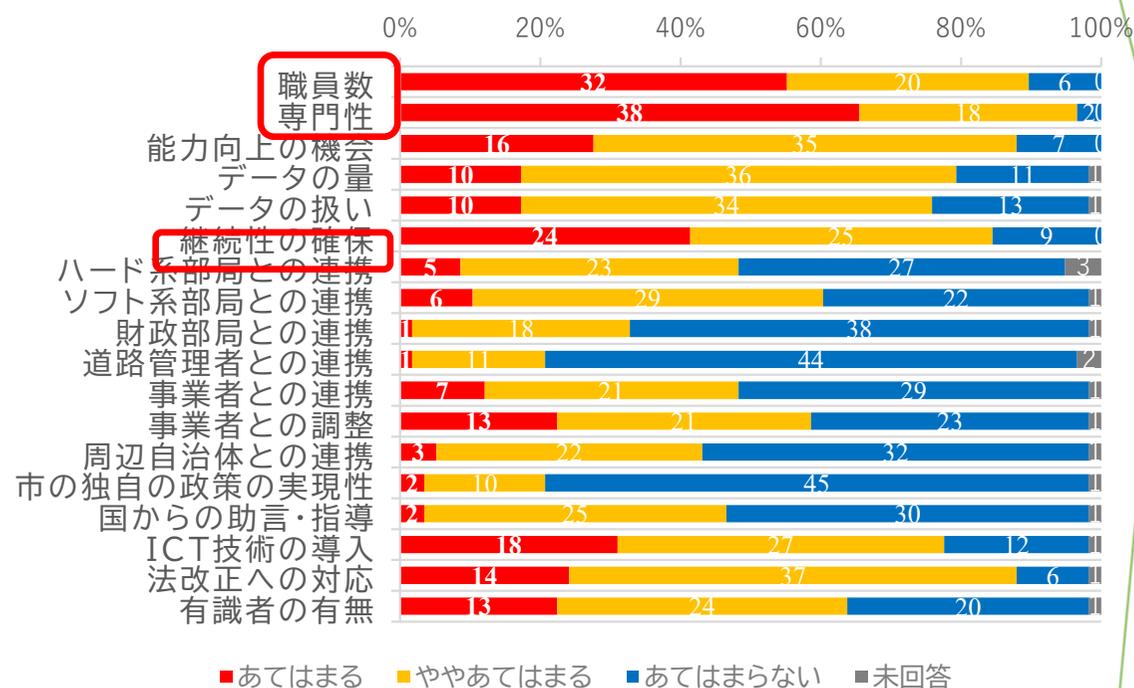
中国地方の自治体の公共交通  
政策実施体制についての  
アンケート調査(2023.4)

## 職員数と在籍年数

	N	職員数平均(人)			合計	平均在籍年数
		行政系	技術系	その他		
政令指定	2	8.5	18.0	0.5	27.0	4.6
中枢市	5	5.8	0.6	0.6	7.0	3.2
一般市 (10万～)	7	6.1	0.0	0.0	6.1	2.9
一般市 (5～10万)	5	6.6	0.0	0.2	6.8	3.6
一般市 (～5万)	14	6.6	0.9	0.6	8.1	2.8
町村	24	7.6	0.0	0.8	8.3	2.8
全体	57	7.0	0.9	0.6	8.4	3.0

平均在籍年数:平均**3.0**年  
技術系職員は政令市以外にはほとんどいない

## 公共交通政策を担う部署の体制の問題



「職員数」・「職員の専門性」・「継続性の確保」  
の課題感が強い

# 都市交通施策を支える制度・進め方 －行政の人材制度

## 「交通専門官」等の制度の導入

交通に関連する部局間を異動/交通担当で地域間を異動し、  
交通行政に継続的に携わる人材が必要

例：  
交通局を中心として現場と交通に関連する  
行政実務に携わる「交通事務職」の導入  
(2023～) (神戸市)



### 事務・福祉

総合事務(区役所)	総合事務(本庁)
総合事務(デザイン・クリエイティブ科)	交通事務
福祉	



**BE KOBE**  
神戸は、人の中にある。  
神戸市交通局

職員採用  
交通事務職  
新たに2023年採用から募集する  
神戸市営交通事業の経営を担う職です

**募集条件**  
募集職種: 交通事務職  
募集人数: 1名  
募集期間: 2023年4月10日(月)～2023年4月20日(木) 15時迄  
応募資格: 神戸市交通局採用要項(募集職種)に該当する者  
募集方法: 神戸市交通局採用要項(募集職種)に該当する者  
試験科目: 神戸市交通局採用要項(募集職種)に該当する者  
試験科目: 神戸市交通局採用要項(募集職種)に該当する者

神戸市



# 都市交通施策を支える 制度・進め方 - 多様な主体の参画

小山市,  
Groove Design

## 既存の「まちづくり活動」に参加していない層 の意見等の収集・反映

例：  
デジタルプラットフォームを活用した  
まちづくりビジョンの策定（小山市）

デジタルプラットフォームを活用することで、  
仕事や勉強で忙しくまちづくりに参画しにくい  
20~40代（ウォークアブル施策への賛意が高い傾向）の意見を収集

小野塚亮・浅見知秀・東宏一・三谷繭子：デジタルプラットフォームはまちづくりへの参加の裾野を広げることができるのか？-栃木県小山市におけるまちづくりプロジェクトを事例に-, 都市計画報告集, Vol.22, No.1, p.134-138, 2023.



# 多様な主体の参画

## 事業者・行政側の多様性

例

子育て世代に訴求する公共交通  
イメージ向上施策（山口市）

20代～40代の男女混合の  
行政・デザイナーのチームで作成

山口市



公共交通で生まれるステキな時間。つくってみませんか？

マイカーに頼りすぎないまちづくりを目指して

このポスターは Rethink Creator PROJECT の一環で、  
地元山口のクリエイターチームによって制作されています。

